

		博物館	美術館		
		3号展示室	2号展示室	3号展示室	4号展示室
2021年	4月	<p>~4.18(日)★ コレクション展 お姫さまのおきにいり</p>  <p>唐草奇装統踏絵員輪・合員 館蔵</p>	<p>3.20(土)~5.9(日) 有料 ウルトラマン55周年 TSUBURAYA EXHIBITION 2021</p> <p>主催:TSUBURAYA EXHIBITION 2021佐賀実行委員会 今年、放送開始から55周年を迎えるウルトラマン。これまで生み出された作品群、これから出会う物語。「想像から創造へ」の思いが詰まった宇宙初の円谷プロ展示会です。</p> <p>©円谷プロ ©TPC ©E.S.T.S ©UMPC ©TPC ©KSW</p> 		
	5月	<p>4.24(土)~6.13(日)★ テーマ展 悠久の佐賀刀剣史</p> <p>弥生時代の出土刀剣から肥前刀、そして現代刀に至るまで、佐賀県の刀剣史を名品とともに辿ります。</p>  <p>須賀神社奉納刀 須賀神社蔵</p>	<p>5.18(火)~23(日) 第64回 二科会佐賀支部絵画展</p> <p>5.20(木)~23(日) 佐賀県シニアアートフェスタ2021 ー第15回佐賀県高齢者美術展ー</p>		
	6月	<p>6.19(土)~7.18(日) さがヲほる 一佐賀県発掘成果速報展2021ー</p> <p>主催:佐賀県文化課文化財保護室 令和2年度に佐賀県内の発掘調査で発見された様々な出土品や最新の研究成果を、いち早く県民の皆様へ公開します。</p>  <p>佐賀市藤三郎塚遺跡発掘調査風景</p>	<p>5.25(火)~6.5(土) 梧竹・蒼海頭彰 第29回佐賀県書道展</p> <p>6.11(金)~20(日) 第103回 佐賀美術協会展</p> <p><del>6.22(火)~27(日) 第45回 佐賀県書作家協会展 中止</del></p> <p>6.29(火)~7.4(日) 第35回 かな書道研究 蒼松会展</p> <p>6.29(火)~7.4(日) 第37回 佐賀県写真協会公募展</p>		
	7月	<p>7.27(火)~8.1(日) 第69回 緑光展(東光会佐賀支部展)</p> <p>8.3(火)~9(月・祝) Art Club Exhibition '21</p> <p>8.12(木)~15(日) 第7回 佐賀北高書道科OB展</p> <p>8.17(火)~22(日) 第49回「大空」七夕書道展覧会</p> <p><del>8.24(火)~29(日) 第42回アートグループ磁場展</del></p>	<p>7.8(木)~8.22(日) 有料 没後30年 相田みつを全貌展 ーみつをが遺したモノー</p> <p>主催:佐賀新聞社 書家で詩人の相田みつをの全貌展。独特の書風で表現された深い言葉は、心の中にずっと入ってくる。「自らの書と言葉」を探索した生涯の作品を、初公開も多数そろえて紹介します。</p>  <p>「しあわせはいつも」1990年</p>		
	8月	<p>9.3(金)~10.17(日)★ 発見50年、土生遺跡</p> <p>一日韓を繋ぐ 弥生時代の大規模集落ー</p> <p>佐賀平野西部の代表的な弥生時代集落である土生遺跡(小城市)。朝鮮半島との関係を示す土器や青銅器等の出土品を通じ、弥生時代の佐賀の対外交流を紐解きます。</p>  <p>土生遺跡出土 黒文土器集合</p>	<p>9.7(火)~10.17(日)★ 有料 特別展 白馬、翔びたつ</p> <p>ー黒田清輝と岡田三郎助ー</p> <p>「日本近代洋画の父」とその功績を称えられる黒田清輝と、彼とともに活躍し、のちに洋画界の巨匠となった岡田三郎助。二人の出会いと交流、そしてそれぞれがめざした美の世界について、東京国立博物館所蔵の黒田清輝コレクションを中心とした名品を通してご紹介します。</p>  <p>黒田清輝《舞妓》1893年 東京国立博物館蔵 重要文化財</p>  <p>岡田三郎助《あやめの衣》1927年 ポーラ美術館蔵</p>		
	9月	<p>同時開催 修理報告 東妙寺并妙法寺境内絵図</p> <p>10.26(火)~31(日) 佐賀銀行文化財団30周年記念展</p>	<p>10.26(火)~31(日) 第33回 佐賀県高等学校総合文化祭 会場:美術館2・3・4号展示室、博物館2号展示室</p>		
	10月	<p>11.13(土)~11.23(火・祝) 第71回 佐賀県美術展覧会(県展)</p>	<p>11.27(土)~12.19(日)★ コレクション展 墨のいろどり~奥深い水墨画への誘い~</p> <p>近世から近代にかけての様々な水墨画を展示し、水墨画ならではの魅力をご紹介します。</p> <p>伊藤若冲筆《蘭図》(部分) 江戸時代 館蔵</p>		
	11月	<p>12.4(土)~2022. 1.23(日) アール・ブリュット展</p> <p>主催:佐賀県文化課</p>  <p>道徳義経《折り紙の動物たち》2003-2017年 写真:高石巧</p> <p>源田真一《舞妓》2009年 写真:高田真澄</p> <p>※写真はいメージです。 ※展覧会名は変更されることもあります。</p>	<p>11.27(土)~12.19(日)★ Artist File #1 古川吉重</p> <p>佐賀ゆかりの近現代のアーティストを特集する展覧会、「Artist File」今回は、日本とニューヨークで活動した抽象画家、古川吉重をご紹介します。《リトグラフ・シリーズ SOUND01》館蔵</p>		
	12月	<p>2.1(火)~3.6(日)★ コレクション展 「忠吉」から「忠広」へ ー集結!初代忠吉ー</p> <p>肥前刀の名工として名高い初代忠吉の刀を一挙公開。晩年に官位を得て「忠広」と名を改めるまで、作刀の変遷をご紹介します。</p>  <p>短刀 銘「忠広」(古川松根所持) 館蔵</p>	<p>11.30(火)~12.5(日) 第44回 さが行動美術展</p> <p>12.11(土)~12.19(日) 第21回 佐賀県障がい者文化芸術作品展</p>		
	1月	<p>2.1(火)~3.6(日)★ コレクション展 「忠吉」から「忠広」へ ー集結!初代忠吉ー</p> <p>肥前刀の名工として名高い初代忠吉の刀を一挙公開。晩年に官位を得て「忠広」と名を改めるまで、作刀の変遷をご紹介します。</p>  <p>短刀 銘「忠広」(古川松根所持) 館蔵</p>	<p>2022.1.1(土・祝)~2.13(日) 有料 画業50周年 女性が輝く未来 ー瞬間の「煌めき」 中島潔 令和の心を女性に描く 主催:佐賀新聞社</p> <p>佐賀出身の画家・中島潔の新作展。自由・自立の精神にあふれ「今」というこの瞬間を前向きに生きる女性たちの姿を、変化に富む美しい日本の生活や四季を背景に描きます。</p>  <p>「鷹匠」2018 ©中島潔</p>		
2月	<p>3.12(土)~5.8(日)★ テーマ展 しってる?佐賀のいきもの展 ー動植物と化石ー</p> <p>佐賀の哺乳類、昆虫や植物、約4,000万年前~1,800万年前(新生代)の佐賀の地層から見つかった化石をご紹介します。</p>  <p>ハツチョウトンボ 写真提供:善多摩に氏</p>	<p>2.22(火)~27(日) 第39回 創元会佐賀支部展</p> <p>3.1(火)~3.6(日) 二科会デザイン部 佐賀支部展</p> <p>3.8(火)~3.13(日) 織田独灯「楽しみま書」展</p> <p>2.22(火)~27(日) 第45回 佐賀の子どもたちの版画展・作品展</p> <p>3.1(火)~3.6(日) 水彩連盟佐賀支部 白水会展</p> <p>3.8(火)~3.13(日) 第15回 中美九州展</p> <p>2.22(火)~3.6(日) 佐賀県陶芸協会展</p> <p>3.8(火)~3.13(日) 第32回 佐賀北高等学校芸術科美術専攻卒業制作展</p> <p>第55回 佐賀北高等学校美術部ベタ展 ※2階画廊</p>			
3月	<p>3.12(土)~5.8(日)★ テーマ展 しってる?佐賀のいきもの展 ー動植物と化石ー</p> <p>佐賀の哺乳類、昆虫や植物、約4,000万年前~1,800万年前(新生代)の佐賀の地層から見つかった化石をご紹介します。</p>  <p>ハツチョウトンボ 写真提供:善多摩に氏</p>	<p>3.19(土)~5.8(日) 有料 珠玉の東京富士美術館コレクション</p> <p>主催:サガテレビ</p> <p>東京富士美術館の西洋絵画コレクションは、16世紀のイタリア・ルネサンスから20世紀の近現代美術まで、400年にわたる西洋絵画史を一望できる充実したものです。本展では、その中から厳選した約80点により、華麗なる西洋絵画の流れをご紹介します。</p>  <p>クロード・モネ《睡蓮》1908年 東京富士美術館蔵</p>			

★は当館の主催です。有料の表示のない展覧会は無料です。※日程や名称は変更される場合があります。